



# 大阪狭山市【大阪府】 歴史文化基本構想

■策定年度：平成31年1月 ■人口：57,792人 ■市域面積：11.92km<sup>2</sup>  
■担当課：大阪狭山市教育委員会教育部歴史文化グループ（平成31年3月現在）



大阪狭山市のシンボルである狭山池は、日本最古の溜め池としておよそ1,400年前から地域の人々の生活を支えてきた。本市域のほぼ中央に位置する狭山池の周辺には、古代以来多様な歴史と文化が連綿と育まれ現在へ受け継がれている。豊かな歴史文化を次世代に引き継ぎ、市民、地域、行政などのあらゆる主体が協働して歴史文化を活かしたまちづくりに取り組む。

5 歴史文化を表す  
つのキーワード

狭山池、藩と陣屋、歴史街道、  
豊かに残る地名、鉄道の開通とニュータウンの開発

## 課題

- ・管理・継承する者がいない歴史文化遺産の保存とそのための人材育成
- ・観光などへの歴史文化遺産の効果的な活用
- ・地域ぐるみでの活用の取り組み

## 保存活用方針

- ・協働による歴史文化を活かしたまちづくり
- ・歴史文化の魅力をともに探求しともに学ぶ
- ・歴史文化の魅力をともに共有しともに育む
- ・歴史文化の魅力をともに高めともに活かす

## 保存活用のための取り組み

### 郷土に対する誇りと愛着を深める取り組み

関連文化財群の存在を周知し、市民に認識していただき、地域の歴史を創造してきたものとしての意義や魅力を学んでいただく事業を行う。これによって、市民に自分たちの宝物であるという意識を育み、郷土に対する誇りと愛着を深める取り組みを進める。



### ふるさと学習を充実する取り組み

学校教育や生涯学習において、ふるさと学習を充実させ、子どもから大人まで幅広い層の人たちが本市の歴史文化遺産について学ぶ機会の充実に努め、公民館や図書館などとも協力して様々な情報の提供を通して積極的にふるさと学習の充実に取り組む。



### 市民団体の活動を支援する取り組み

市民や市民団体が、主体的に歴史文化遺産を活かした事業やイベントを開催したり、歴史文化遺産周辺の清掃や草刈りといった周辺環境の維持を図ったりする取り組みが見られる。このような市民や市民団体の活動に対して、支援する取り組みを行う。

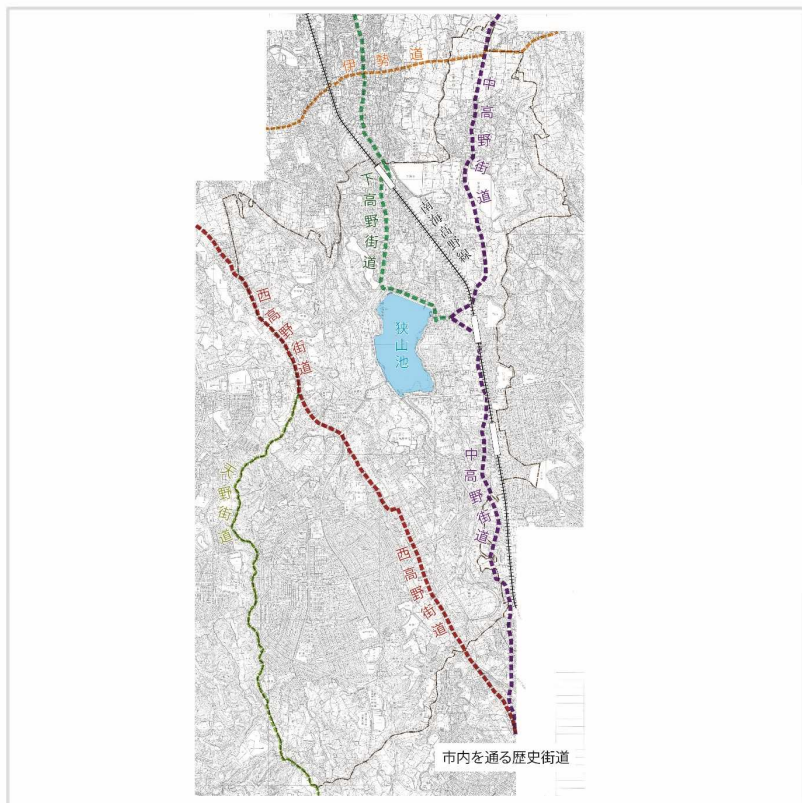


### 関連機関との連携強化の取り組み

市のシンボルである狭山池と、狭山池から出土した遺構や遺物を展示する大阪府立狭山池博物館の魅力を一層アピールするため、市教育委員会と大阪府が連携を密にして、さらなる魅力の発信と外国人来館者への対応の充実などに取り組む。



## ◆ 関連文化財群



大阪狭山市には、日本最古の溜め池である狭山池が所在する。式内社であり狭山池を神格化した狭山神社が代表するように、古代以来、人々は狭山池と共に豊かな歴史文化を紡いできた。中世の高野街道の成立、近世の狭山藩北条氏の陣屋構築、近代の狭山ニュータウンの開発など、本市では時代ごとに様々な物語が生み出されている。

### ストーリー

- ① 時代を超えて生き続ける 郷土の誇り狭山池
- ② 式内社周辺の重層的に蓄積する歴史文化
- ③ 高野街道等の信仰・交通
- ④ 狭山藩による武家文化
- ⑤ 近代化によって生まれた新たな文化遺産

## ◆ 策定後の成果（見込まれる効果）

① 市の魅力発信のツールとして  
 関連文化財群とストーリーの設定は、大阪狭山市を代表する歴史文化を関連文化財ごとにストーリーを設けて、豊富な図版によってわかりやすく見せるもので、歴史文化遺産を媒体として市の魅力を発信するツールとして活用できるものである。



② 地域学習の基本的な資料として  
 大阪狭山市歴史文化基本構想には、歴史文化を活かしたまちづくりの方向性や進め方以外にも、大阪狭山市の概要や歴史文化の変遷、文化財調査の取り組みや本市の歴史文化の特性なども記載されているため、学校教育や生涯学習のための歴史講座において、テキストとして活用できるものである。



③ 地域の歴史文化への関心の高まり  
 狭山池や狭山藩関連の有名な歴史文化遺産だけでなく、地域によって守られ今に伝わる身近な存在であるものが、実は貴重な歴史文化遺産であるという発見を通して、地元で改めてそのような歴史文化遺産について学び、守っていこうという機運の高まりがみられ、他の地域にも広がるのが期待できる。

